

平成 28 年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「地区研修(東青地区)」

平成28年7月13日(水) 会場名:青森県総合社会教育センター

生涯学習・社会教育関係職員研修講座「地区研修(東青地区)」が、7月13日(水)青森県総合社会教育センターにおいて受講者15名で実施されました。

この研修は、県内6地区の地域課題の把握に努め、各地区のネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を実施することとしています。

東青地区では、例年『管内生涯学習・社会教育行政関係者研修会』として開催しています。

今年度は、十和田バラ焼きゼミナール 舌校長 畑中 宏之 氏 と 青森観光コンベンション協会 センター長 工藤 正之 氏 のお二人を講師にお招きし、午前と午後に分けて、それぞれの豊富な経験と実践に基づいた御講演をいただきました。

1. 講演①:【テーマ】「住民をその気にさせるまちおこし」～ラビアンローズ!バラ色の人生を!!～

午前中は、十和田バラ焼きゼミナール 舌校長 畑中氏に御講演いただきました。

ゼミナールの理念や実践に基づいたお話と、「B-1 グランプリ in 十和田大会」の開催にあたっての連携事例等も加えてのお話は熱くエネルギッシュなものばかりで、受講者の感想からも「感動した!」という声上がるほど、大きな刺激をいただいた内容でした。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【概要】

- 全てのベースは『教育』… “より良く生きる” ための学び
 - 存在を認めること ～ 表現の一つとして『愛する』ということ … ゼミナールの理念
 - 地域力の向上 → 「魅力を」… 認識・向上・発信・継続
 - **共に育ち・育てる(人づくり)** 「自慢できるものがわかると誇りを持てる」
→ 「誇りを体験しようと市民が動く」
→ 「誰かにその動きを伝えようとする」
→ 「十和田を離れても地元の良さを他の地域で自慢する」
 - **連携すること: チームワーク** … **強み**になる ～ 「点」から「面」にすることでより強いものになる
→ お互い Win Win の関係
 - **成功体験**した市民 … 主体性が芽生える
 - **仕掛けづくり** ～ 感動につながる
- } **観光の原点**
↓
ふるさとを支える力

2. 講演②：【テーマ】「ねぶたを核とした地域活性化」

午後は、青森観光コンベンション協会 センター長 工藤氏に「ねぶた祭」を核とした活動から、『地域活性化』を図る様々な取組について御講義いただきました。

「祭りは郷土文化であり、それは教育によって継承される。」という考えから、教育に必要な「教育システム」の構築や「教科書・教材」の開発を実践した事例をお話いただきました。青森市内のいくつかの小学校に出向き授業の講師をしたり、チラシやテキストを作成したりして「ねぶた授業」を開催していることや、自ら生きた教材として“ねぶたマン”に扮しての出前授業のほか、様々なイベントにも登場して、広報活動をしている様子も御説明いただきました。

ねぶた祭の後継者不足問題や地域・町内ねぶたの再生など、少しずつ取組の効果がみられるようになってきたことから、受講者は、連携した取組の必要性について、とても興味深く耳を傾けていました。

【講演の様子①】



【講演の様子②】



【概要】

- ねぶた教育は郷土文化の継承と地域活性化につながる ～ 「人財育成」にもつながる
- 教育に必要なもの → ①教育システム ②教科書・教材
- 後継者不足 … 以前は子どもとねぶたの接点が多かった ※講習会だけでは後継者育成には繋がらない
- ねぶた祭への興味・参加 ⇔ 「ねぶた教育」 ⇔ 郷土愛は深まる
 - 地元への愛着・魅力発信者 ←
 - ボランティア活動 →
- 地域ねぶたの再生 … 学校と町内ねぶたの連携 ～ 高校と小学校との交流
- 期待する効果 ・ねぶた祭の後継者育成 ・連携 ・観光振興と伝統文化の共存
- 地祭地承 (ちさいちしょう) *造語 … 郷土の祭は市民が継承する

後継者育成

3. 受講者の感想

- ・学びの大切さ、生涯学習は素晴らしい感動の連続です。
- ・地域に感動を、愛を！実践活動の参考にしたいと思います。
- ・補助金に頼らないことを改めて確認しました。
- ・大いに期待して受講しました。期待通りで大変満足です。
- ・まちおこしについては感動しました。ねぶたを核とした人材確保とねぶた教育についても感銘を受けました。
- ・企画を立てる時に、もう少し参加者への配慮や感動できるポイントを押さえながらやっていきたい。